

発達障がいと不登校

不適応を防ぐために学校や家庭でできること

神経発達上の偏りを示す児童や生徒、つまり発達凸凹（でこぼこ）がある児童・生徒は、通常学級においては様々な困難と課題が待ち受けています。かかる児童や生徒が不適応や問題行動を起こさないために、家庭や学校で配慮すべきポイントを整理します。また、不登校や不適応に陥った場合の対応についてお伝えします。

日時

平成28年7月24日（日）

14時～16時（13時30分開場）

会場

府中グリーンプラザ 大会議室

参加費

無料

要予約

（お申込み方法は裏面をご覧ください）

講師 織田孝裕 先生

東京国際大学大学院応用社会学研究科修了
臨床心理士・特別支援教育士（S. E. N. S.）・精神保健福祉士
立教大学社会福祉研究所研究員

1997年、（社）神奈川学習障害教育研究協会の推薦を受けてLD（学習障害）児のための学校「ランドマークスクール（マサチューセッツ州ボストン）」にて研修。

1997年から2002年まで、LDから引き起こされた不登校児・者を支援するNPO法人フトゥーロ「十日市場心理相談室」臨床心理士。

2002年から東京都教育庁学校臨床心理士。

北区特別支援教育専門委員会委員（2006年～2011年）を経て、福島県教育委員会緊急派遣スクールカウンセラー、宮城県教育委員会緊急派遣スクールカウンセラー（2016年まで）。

現在、登校拒否文化医学研究所ソーシャルワーカー。スクールカウンセラーのための

『発達障がい者の二次的問題に関する事例研究会』代表世話人。

主催 学校法人愛泉会 芸術工芸高等専修学校
後援 学校法人野田鎌田学園 あずさ第一高等学校

<会場へのアクセス>

京王線府中駅北口 徒歩1分
（ペDESTリアンデッキ直通）
新宿より特急電車利用 25分

（JR中央線利用の場合）
武蔵小金井駅または国分寺駅下車
府中駅行バス終点
施設内に駐車場はございません

